

# CIMPHONY Plus との連携（データ受け渡し）

FIELD-TERRACEとCIMPHONY Plus間でデータをアップロード/ダウンロードする操作を説明します。

## **1 CIMPHONY Plus からダウンロード …… CIMPlus-2**

1-1 XFD ファイルをダウンロードして現場を新規作成する …… CIMPlus-4

1-2 設計データをダウンロードして現場に取り込む …… CIMPlus-7

## **2 CIMPHONY Plus へアップロード …… CIMPlus-10**

2-1 記録データをアップロードする …… CIMPlus-12

## CIMPHONY Plus からダウンロード

CIMPHONY Plusから弊社プログラム間の連携用ファイル（XFDファイル）をダウンロードして、

- ・現場の新規作成
- ・設計データの取り込み

をおこなうことができます。

※ダウンロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。  
（「参照者」のユーザーはダウンロードできません。）

※丁期が終了した現場からダウンロードすることはできません。

ダウンロードする XFD ファイルの格納場所は

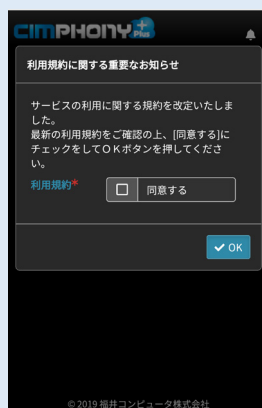
ダウンロードする XFD ファイルは、弊社各プログラムから CIMPAPHONY Plus にアップロードした XFD ファイルです。CIMPAPHONY Plus [ファイル管理] の

[連携] - [プログラム名] - [FC 連携ファイル] フォルダに格納されています。



## 利用規約の同意画面が表示された場合は

CIMPHONY Plus の利用時に、利用規約の同意画面が表示された場合は、利用規約を確認して同意してください。



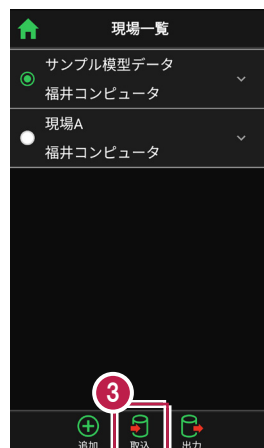
## 1-1 XFDファイルをダウンロードして現場を新規作成する

CIMPHONY PlusからXFDファイルをダウンロードして、現場を新規作成する手順を解説します。

- ① ホーム画面の「メニュー」をタップします。

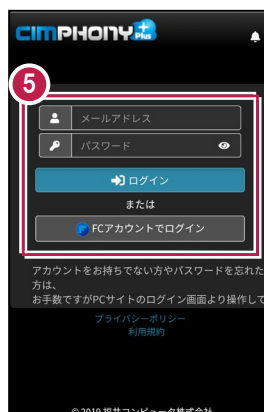
- ② 「現場 切り替え」をタップします。

- ③ 「取込」をタップします。



- ④ 取込元の選択で「CIMPHONY Plus」を選択して、「次へ」をタップします。

- ⑤ CIMPHONY Plus のログイン画面が表示されます。



- 6 CIMPHONY Plus の  
「メールアドレス」と  
「パスワード」、または  
「FC アカウント」  
で [ログイン] します。

- 7 CIMPHONY Plus 内の  
現場が一覧表示されます。
- 接続する現場を選択して、  
[OK] をタップします。



### CIMPHONY Plus と連携済みの場合は

既に CIMPHONY Plus と連携済みの場合は、5 ～ 7 の手順は省略される場合があります。

- 8 [取込元] をタップします。
- 9 「取込元」を選択します。  
アップロードしたXFDファイル  
の登録先（プログラム）を  
選択します。
- 10 取り込むXFDファイルを  
選択して [実行] をタップ  
します。



CIMPHONY Plus 「ファイル管理」の、[連携] -  
[プログラム名] - [FC連携ファイル] フォルダ  
に格納されているXFDファイルが表示されます。

- 11 取り込んだ現場で  
TS出来形計測を行う場合は「する」を、  
TS出来形計測を行わない  
場合は「しない」を  
選択します。

- 12 XFDファイルがダウンロードされ、現場データが新規作成されます。  
XFDファイル内に  
・座標データ  
・CADデータ  
・路線データ  
・TINデータ  
が含まれている場合は、  
同時に取り込まれます。



## 1-2 設計データをダウンロードして現場に取り込む

CIMPHONY Plusから設計データ（座標データ、CADデータ、路線データ、TINデータ）をダウンロードして現場に取り込みます。

ここでは例として、座標データを取り込む手順で解説しますが、他のデータも同様の手順で取り込むことができます。

- 1 ホーム画面の  
「データ管理」をタップ  
します。

- 2 「データ取込」をタップ  
します。



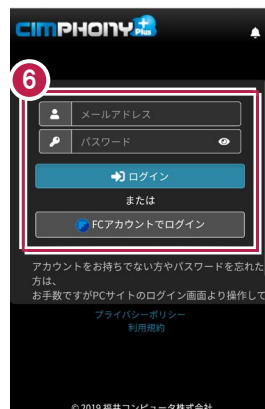
- 3 データ取込画面で、  
取り込むデータの種別を  
選択します。

- 4 ここでは「座標データ」を  
選択し、「次へ」をタップ  
します。



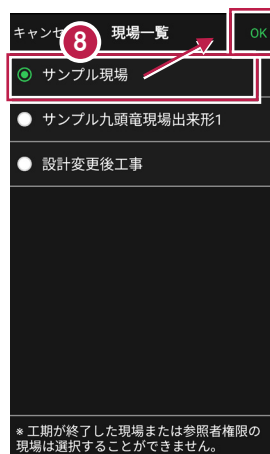
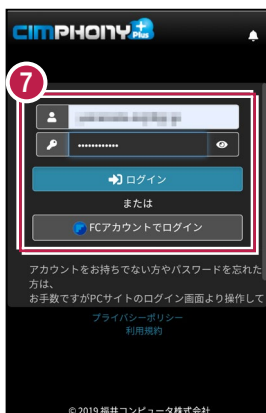
- 5 取込元の選択で  
[CIMPHONY Plus] を  
選択して、[次へ] を  
タップします。

- 6 CIMPHONY Plus の  
ログイン画面が表示されます。



- 7 CIMPHONY Plus の  
「メールアドレス」と  
「パスワード」、または  
「FC アカウント」  
で [ログイン] します。

- 8 CIMPHONY Plus 内の  
現場が一覧表示されます。  
接続する現場を選択して、  
[OK] をタップします。



### CIMPHONY Plus と連携済みの場合は

既に CIMPHONY Plus と連携済みの場合は、**6** ～ **8** の手順は省略される場合があります。



9 「[取込元]」をタップします。



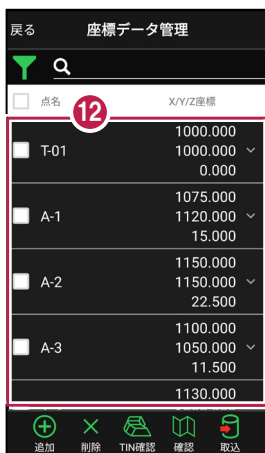
10 「取込元」を選択します。  
XFDファイルから座標を取り込む場合は、「XFDファイル  
をアップロードしたプログラム」  
を選択します。  
SIMAファイルまたはCSVファ  
イルから座標を取り込む場  
合は、「座標」を選択しま  
す。



11 取り込むファイルを選択して  
「実行」をタップします。

CIMPHONY Plus 「ファイル管理」の、[連携] – [プログラム名] – [FC連携ファイル] フォルダに格納されているXFDファイル、または[座標] フォルダに格納されているSIMAファイル・CSVファイルが表示されます。

12 ファイルがダウンロードされ、  
座標データが取り込まれます。



### 他のコマンドでも、設計データを取り込むことができます

ここでは「データ管理」から取り込む手順で解説しましたが、  
TIN データは「設計管理」 – 「TIN データ」で、  
図面 (CAD) は「図面表示」でも、同様に取り込むことが  
できます。



## 2

## CIMPHONY Plus へアップロード

CIMPHONY PlusへFIELD-TERRACEの記録データ

- ・座標データ（SIMA）
- ・座標データ（CSV）
- ・横断現況データ（SIMA）
- ・基本設計データ（XML）
- ・簡易TINデータ（LandXML）

をアップロードすることができます。

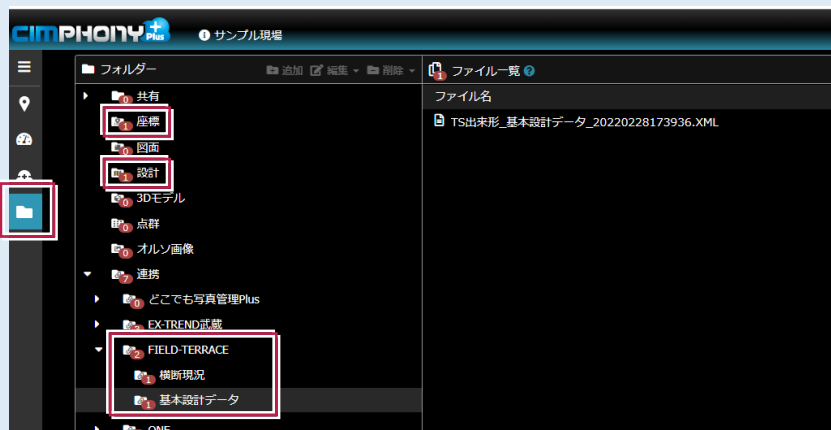
※アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。  
（「参照者」のユーザーはアップロードできません。）

※工期が終了した現場へアップロードすることはできません。

### アップロードした記録データの格納場所は

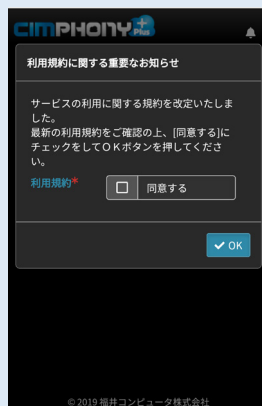
FIELD-TERRACE から CIMPHONY Plus にアップロードしたデータは、[ファイル管理] の

- ・座標データ（SIMA、CSV）は [座標]
  - ・簡易 TIN データ（LandXML）は [設計]
  - ・横断現況データ（SIMA）は [連携] - [FIELD-TERRACE] - [横断現況]
  - ・基本設計データ（XML）は [連携] - [FIELD-TERRACE] - [基本設計データ]
- の各フォルダーに格納されます。



## 利用規約の同意画面が表示された場合は

CIMPHONY Plus の利用時に、利用規約の同意画面が表示された場合は、利用規約を確認して同意してください。

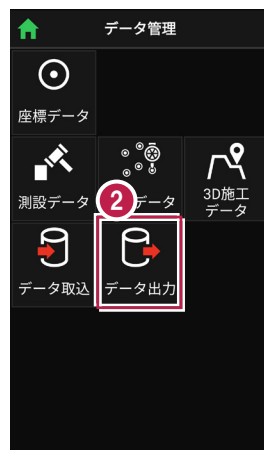


## 2-1 記録データをアップロードする

ここでは例として、座標データ（SIMA）をアップロードする手順で解説しますが、他のデータも同様の手順でアップロードすることができます。

- 1 ホーム画面の  
「データ管理」をタップ  
します。

- 2 「データ出力」をタップ  
します。



- 3 データ出力画面で、  
出力するデータの種別を  
選択します。

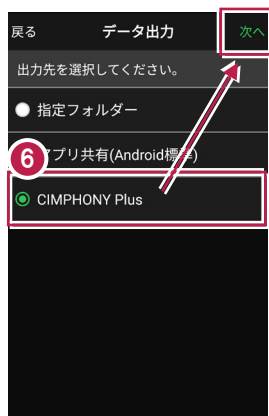
- 4 ここでは  
「座標（SIMA）」を  
選択し、「次へ」をタップ  
します。



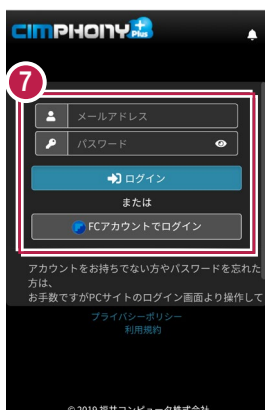
- 5 現場データ内の座標データを全て出力する場合は「全て」を選択して「次へ」をタップします。



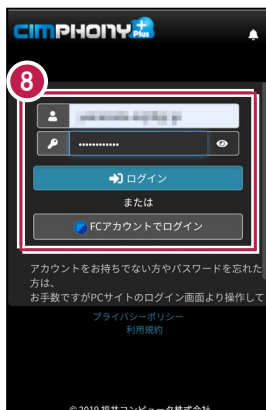
- 6 出力先の選択で「CIMPAPHONY Plus」を選択して、「次へ」をタップします。



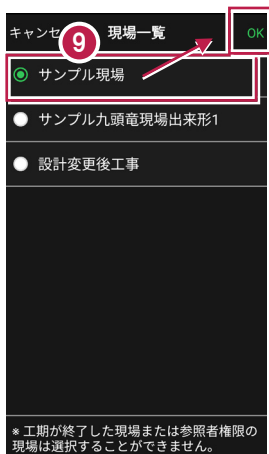
- 7 CIMPAPHONY Plus のログイン画面が表示されます。



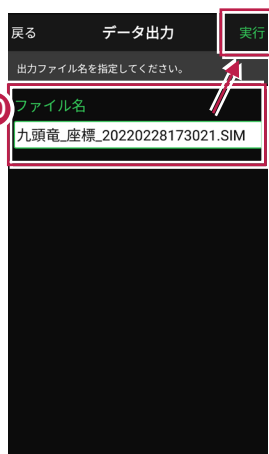
- 8 CIMPAPHONY Plus の「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で「ログイン」します。



- 9 CIMPAPHONY Plus 内の現場が一覧表示されます。接続する現場を選択して、「OK」をタップします。



- 10 ファイル名を指定して「実行」をタップします。  
CIMPAPHONY Plusの現場に座標データがアップロードされます。

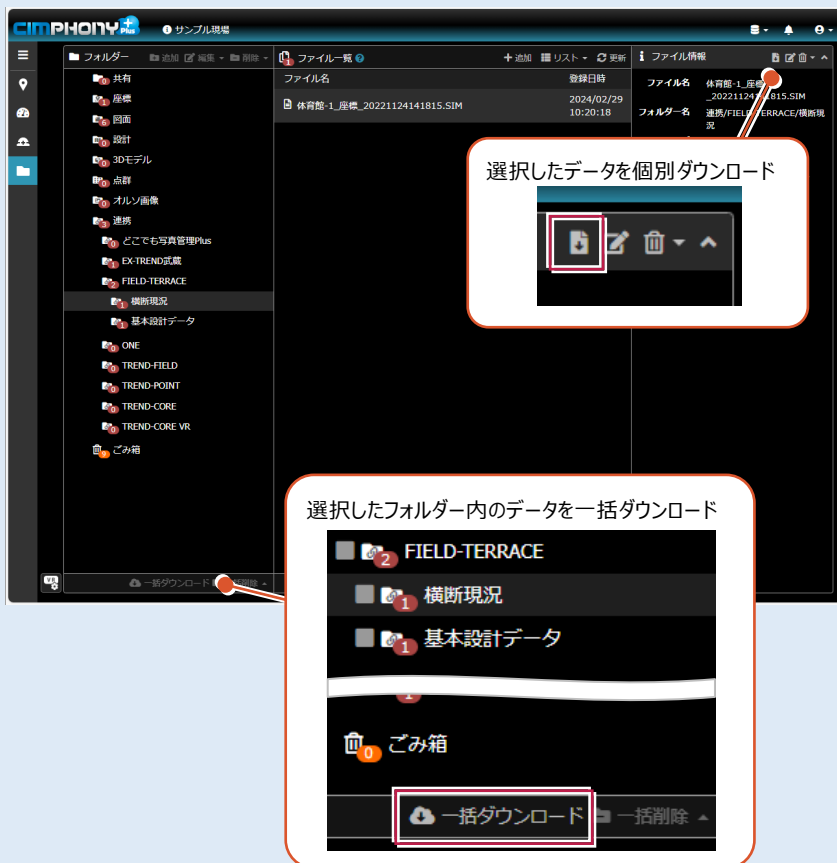


## CIMPHONY Plus と連携済みの場合は

既に CIMPHONY Plus と連携済みの場合は、⑦～⑨の手順は省略される場合があります。

## アップロードしたデータを利用するには

CIMPHONY Plus にアップロードしたデータは、弊社各プログラムで CIMPHONY Plus から取り込んで利用する、または、お使いの PC に直接ダウンロードして利用します。



## CIMPHONY Plus へ計測座標が自動送信されます

CIMPHONY Plus と連携すると、FIELD-TERRACE で計測した座標が「接続先の現場」に自動送信されます。自動送信は、観測して「記録」するタイミングで行われます。

送信した座標は CIMPHONY Plus の「共有ファイル」の「座標」－「座標管理」および「出来形データ」の「出来形」－「日々管理」－「計測点一覧」に登録されます。

### <対応コマンド>

- ・測設：「座標」「路線」「路線（測点）」「横断変化点」
- ・観測：「放射」「路線」「横断放射」「レベル」
- ・3D 施工：「点検・検査」「点検・検査（TIN）」「構造物」「出来形計測」
- ・遠隔検査
- ・TS 出来形：「計測・検査」

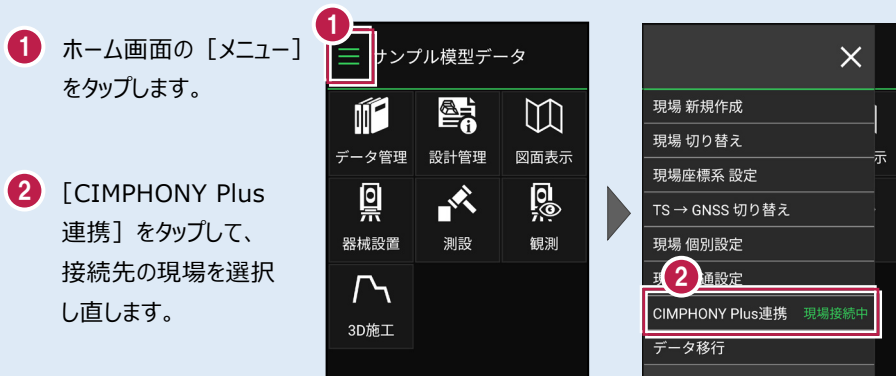
※観測の「レベル」は、X,Y 座標が存在する目標点がセットされている場合のみ送信します。

※3D 施工の「丁張」は対応していません。

※遠隔検査の結果は、CIMPHONY Plus の「出来形データ」の「出来形」－「検査」－「遠隔検査」および「検査結果一覧」に連携します。  
「座標管理」や「計測点一覧」には取り込まれません。

## 接続先の現場を変更する場合は（接続されている現場が不明な場合は）

ダウンロード/アップロード先の CIMPHONY Plus の現場を、別の現場に変更する場合は、ホーム画面の「メニュー」から「CIMPHONY Plus 連携」をタップして、接続先の現場を選択し直してください。



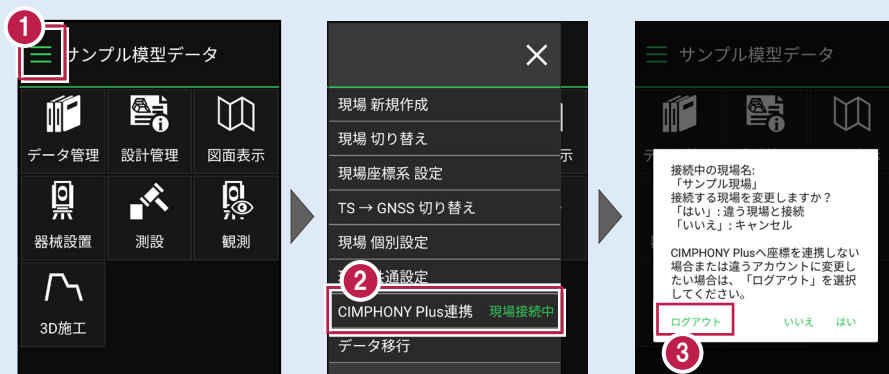
## 接続先の現場が表示されない場合は

ダウンロード/アップロード先の CIMPHONY Plus の現場が表示されない場合は、以下を確認してください。

### ●ログインしているユーザーは、現場に招待されたユーザーですか？

現場に招待されていないユーザーの場合、現場一覧に表示されません。

別のユーザーでログインしている可能性がありますので、一度ログアウトして、正しいユーザーで再ログインしてください。



（次ページへ続きます）



現場一覧に表示されるのは「工期前」「工期中」「終了」の現場のみです。  
WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインし、〔休止中のみ〕をオンにして確認してください。必要であれば「現場情報」の〔休止〕タブで現場を復帰してください。  
（〔復帰〕は「所有者」のユーザーのみ可能）



ダウンロード/アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。「参照者」のユーザーはダウンロード/アップロードできません。

WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインして、「現場情報」の「参加者」タブで「権限」を確認してください。必要であれば「所有者」のユーザーに、権限の変更を依頼してください。

